

◆ ケアマネジャーのための情報誌 ◆

ケアマネ

SAPPORO

2005.4.1発行

発行

札幌市介護支援専門員連絡協議会

事務局

札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部

札幌市中央区大通西19丁目

札幌市社会福祉総合センター内

TEL 011-612-6110

FAX 011-613-5486

第33号

全国ケアマネの職能団体設立に向けて

北海道ケアマネジャー連絡協議会 会長 岩見 太市

介護保険がスタートして5年が経過し、介護保険法の改正法案が既に国会に上程されています。これから委員審議が始まりますが、2006年4月スタートに向けて、介護報酬の改定や実施要綱など細則づくりも始まろうとしています。

ケアマネ関係も更新の仕組み、研修体系のあり方、介護報酬の組み立てなど私たちに直接関係のある業務内容についての議論も始まろうとしています。

その意味で今年は全国ケアマネにとっても極めて大切な年になることは間違いありませんが、その動きに対応して全国介護支援専門員連絡協議会では3月11日に全国理事会と全国都道府県のケアマネ代表者による集会が相次いで開催され、全国のケアマネが大団結した職能団体「日本介護支援専門員協会」の設立が決議され、協議会の解散と今年6月の設立総会に向けて各都道府県が準備体制に入ることになりました。

現状の組織加入による協議会ではなく、個人加入による協会の設立によって、私たちケアマネの職能団体としての地位を確立させ、制度改定や、都道府県の研修体系や監査体制、さらに市町村との関係をより密にすることが決議されました。

職能団体「日本介護支援専門員協会」の基本理念と事業計画の骨子は以下のようになります。

☆基本理念

介護支援専門員の質の向上及び介護支援専門員の

地位(職)の確立

☆想定される事業

制度改定の提言、研修教材の開発、IT支援、制度の情報提供、相談、出版、調査研究その他

日本介護支援専門員協会は市町村、都道府県、全国が一体となった組織体制で運営されることを主眼に置いて、全国レベルでは政策提言や研修のテキストづくりなど厚生労働省への提言に力を入れることになっています。都道府県では研修の講師派遣、全国と市町村とのコーディネート、指導監査などへのケアマネの参加、そして市町村ではさまざまな情報交換や研修の実施などが主体になった組織づくりを想定しています。

介護保険制度が市民にとって利用しやすい、安定した仕組みにするには、その核となる私たちケアマネ自身が自立し、利用した視点に立った制度運営を行い、自己の資質を向上させることが大切であることは言うまでもありません。

そのためには全国のケアマネが互いに手をつないで連携し、個々のパワーではなく全体のパワーとして利用者視点、ケアマネの視点でのさまざまな活動が必要になってくると思っています。

何れ入会案内の連絡をさせて頂くことになると思いますが、ひとりでも多くのケアマネが職能団体の元に参加して下さることを期待しています。

日本介護支援専門員協会の設立と当会の立場について 札幌市介護支援専門員連絡協議会長 奥田 龍人

全国介護支援専門員連絡協議会がいよいよ協会設立に向けて動き出しましたが、当会としては、その支部である北海道ケアマネジャー連絡協議会の動向も見ながら、長い目で判断したいと考えています。当会も個人の集まりで会費を徴収して運営しているわけですが、何の議論もないままに全国に組み込まれるという話にはなりませんし、当会と別に「日本介護支援専門員協会札幌市支部」が設立される形になるのかということについてもこれからの議論が必要でしょう。日本協会が何を目標してどのような事業を担うのかは今後明らかになることでしょうが、当面の当会

の対応としては、会員の皆様の選択権を尊重するという形で運営したいと考えています。以下に現時点で予測される例を示します。これは北海道連協の動向によって変わる可能性もあります。

①日本協会に加盟

日本協会と北海道支部の会費を支払う。

②当会のみ加盟

当会の会費を支払う。

③日本協会と当会に加盟

日本協会・北海道支部と当会の会費を支払う。

※日本協会への加入は都道府県支部の加入が条件となる予定です。

札幌市からの情報提供

居宅介護支援事業者調査結果の報告《1》

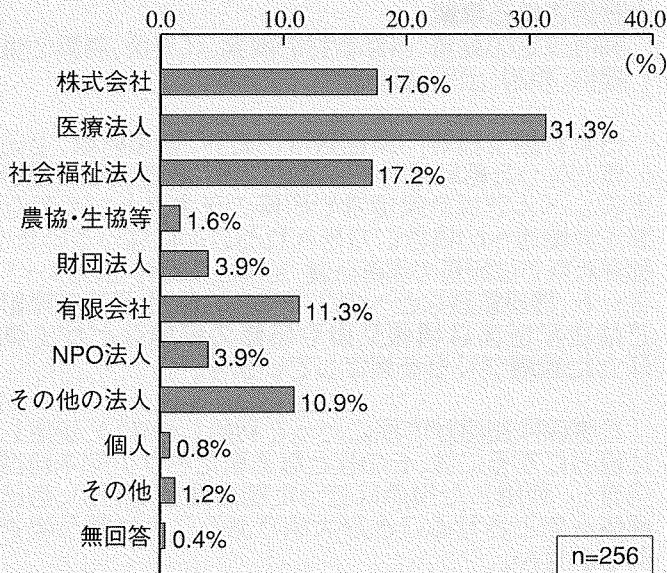
札幌市では、現在、平成18年度からの次期介護保険事業計画の策定に向けて準備を進めているところです。去る、平成16年11月・12月にかけて本市が行った「サービス提供事業者調査」にあたりましては、ご協力を賜りましてありがとうございました。

この調査は、平成18年度からの次期介護保険事業計画に必要な施策を検討するための基礎資料とさせていただくことを目的に実施したものです。このたび本調査の「居宅介護支援事業者」分野の概要がまとまりましたので、本紙4月号と6月号の2回にわたって報告いたします。

1. 事業所の概要(居宅介護支援)

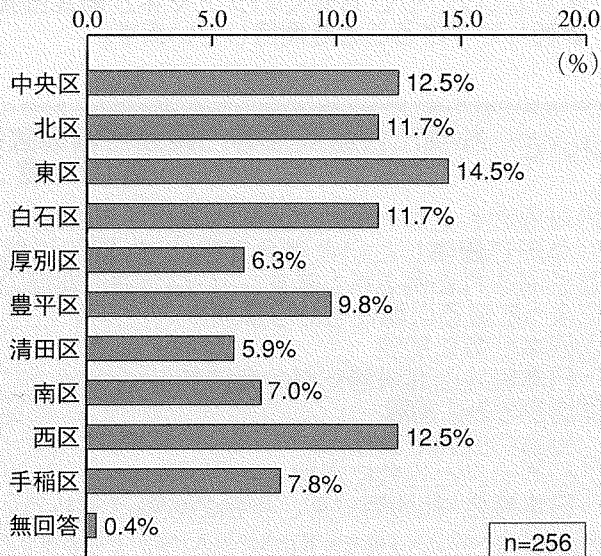
(1) 事業所の経営形態

事業所の経営形態については、「医療法人」が31.3%と最も高く、ついで、「株式会社」(17.6%)、「社会福祉法人」(17.2%)となっている。



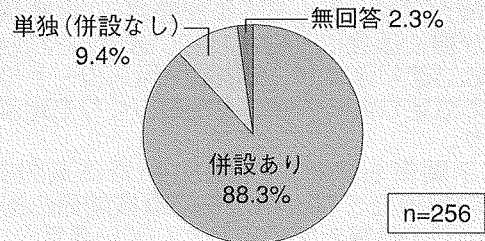
(2) 事業所の所在区

事業所の所在区については、「東区」が14.5%と最も高く、ついで、「中央区」「西区」(12.5%)、「北区」「白石区」(11.7%)となっている。



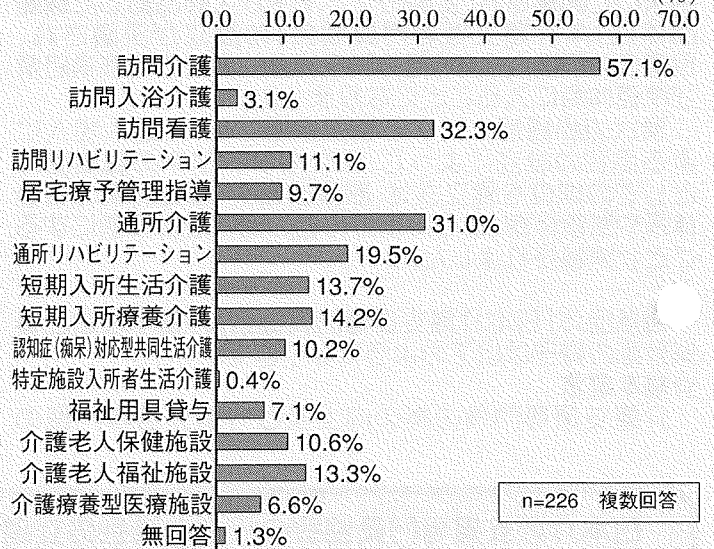
(3) 併設事業所の有無

併設事業所の有無をみると、「併設あり」が88.3%となっている。また、「単独(併設なし)」は9.4%となっている。



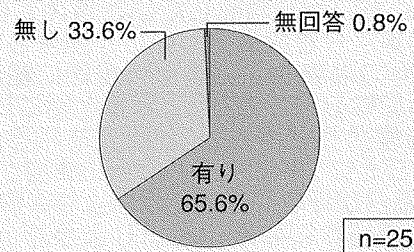
(4) 併設事業所の種類

併設事業所の種類をみると、「訪問介護」が57.1%と最も高く、ついで、「訪問看護」(32.3%)、「通所介護」(31.0%)となっている。



(5) 管理者の介護支援専門員の資格

管理者の介護支援専門員の資格の有無についてたずねたところ、「有り」が65.6%となっている。



2.介護支援専門員の稼働状況

(1)職種別・勤務形態別

回答のあった252事業所に所属する介護支援専門員の数については942人で、そのうち常勤職員が815人(86.5%)、非常勤職員が127人(13.5%)で、1事業所あたりの介護支援専門員数は平均3.7人となっている。また、非常勤職員を常勤換算(常勤職員の所定勤務時間に基づき換算)すると82.9人となる。職種別にみると、「看護師」が35.8%と最も高く、ついで、「介護福祉士」(24.5%)となっている。

	常勤		非常勤		うち専任		人数	割合
	うち専任	うち兼任	うち専任	うち兼任	人数	割合		
医師・歯科医師・薬剤師	9	1	8	3	0	3	12	1.3%
保健士	50	14	36	8	3	5	58	6.2%
看護師	268	82	186	69	15	54	337	35.8%
准看護師	26	12	14	1	0	1	27	2.9%
社会福祉士・ケアマネ	139	59	80	4	3	1	143	15.2%
介護福祉士	215	133	82	16	15	1	231	24.5%
PT・OT	10	2	8	1	0	1	11	1.2%
ヘルパー	11	6	5	3	2	1	14	1.5%
栄養士	10	7	3	0	0	0	10	1.1%
歯科衛生士	28	22	6	15	12	3	43	4.6%
事務職員	19	9	10	3	2	1	22	2.3%
その他	30	19	11	4	2	2	34	3.6%
合計	815	366	449	127	54	73	942	100.0%

(2)兼務状況

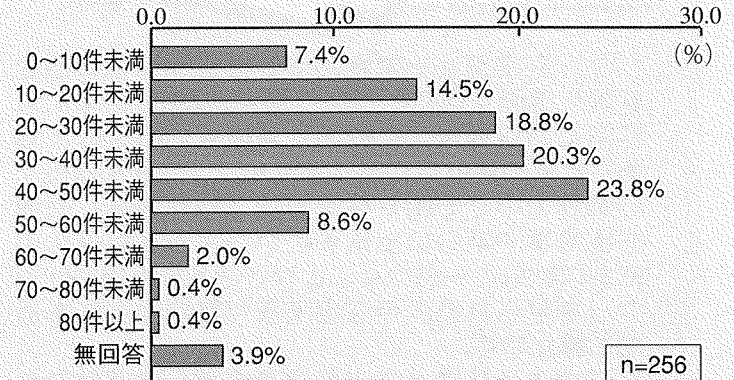
「常勤」のうち55.1%、「非常勤」のうち57.5%が兼任となっている。

また、兼務内容についてみると、常勤では「在宅介護支援センター業務」が26.8%と最も高く、ついで、「訪問看護業務」(25.0%)、「病院・診療所業務」(20.2%)となっている。非常勤では、「訪問看護業務」が72.2%と最も高くなっている。

3.ケアマネジメント業務状況

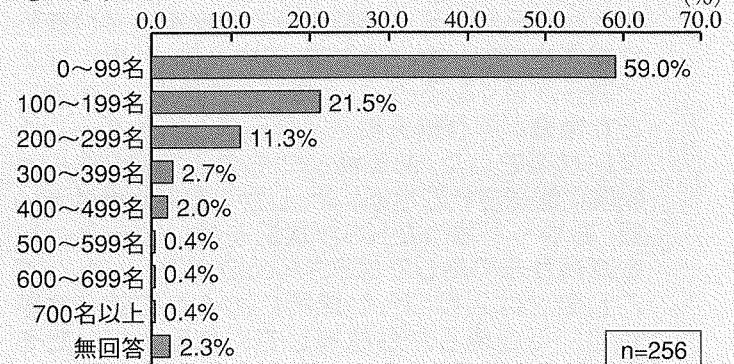
(1)ケアプランの作成状況

介護支援専門員1人あたりの平均ケアプランの作成件数をみると、「40~50件未満」が23.8%で最も高く、ついで、「30~40件未満」(20.3%)、「20~30件未満」(18.8%)となっている。



(2)サービス利用者の受持ち件数状況

事業所の平成16年11月1日現在の利用件数(契約者)の状況については、「0~99名」が59.0%で最も高くなっている。



介護支援専門員1人当たり最大利用者数については、「50~59名」が27.0%で最も高く、ついで、「40~49名」(18.4%)となっており、平均41.9人となっている。

介護支援専門員1人当たり最小利用者数については、「0~9名」が28.5%で最も高くなっており、平均21.3人となっている。

札幌市からのお願い／札幌市高齢者配食サービス事業について

平成16年度から、札幌市高齢者配食サービス事業は、「『食』の自立支援事業」として実施しています。

要介護認定を受け、介護保険サービスを利用している方に対し、配食サービスを決定(変更)する場合は、ケアマネジャーの皆様に、アセスメント票と週間サービス計画表の写しを提出していただいているところです。

配食サービスを、自立支援を目的としたケアプランに位置付け実施するため、次の場合にはアセスメント票等の提出をお願いいたします。

【アセスメント票と週間サービス計画表の写しを提出する場合】

- ・要介護(要支援)認定を受けている方が、新規に配食サービスの申請をしたとき
- ・要介護(要支援)更新申請の認定があったとき
- ・区分変更申請の認定の結果、要介護度が変更になったとき

【週間サービス計画票の写しを提出する場合】

- ・ケアプランの変更に伴い、配食サービスを受ける日(曜日・日数)を変更したとき

札幌市高齢福祉課 Tel 211-2976 Fax 218-5179

札幌市高齢者配食サービス事業マニュアル(提出様式(フロッピー))が必要な場合は上記までご連絡ください。折り返し送付いたします。

ケアマネ 日誌 ⑱

ハートさっぽろ
ケアプランセンター
介護支援専門員
田村 直人

ケアマネジャー業務の中では日々いろいろな状況に直面することがあります。当然その中には非常に困難な状況に直面し調整等に頭を悩ませることもめずらしくありません。ただ、そんな日々の業務の中でも困難な状況ばかりではなく心穏やか出来事や楽しい出来事というような緊張の中にも「ほっ」と一息つくことができる出来事やビックリさせられるような出来事が業務の中にあるのも確かです。

このような様々な出来事の中から今回はごく一部のお話(よくある話?)を紹介させていただきますのでご覧いただけたら幸いです。

独居のSさん(女性)は夜間になると時々胸苦症状があらわれその都度自分で救急車を呼び病院に搬送されていたそうです。Sさん曰く「夜になると調子が悪くなるのよ」とのこと週に1、2度自分で救急車を呼び緊急搬送されることもめずらしくない状態でした。ある晩いつものようにSさんが病院に搬送されてきました。しかし救急隊員は渋い顔、おやっと思ったNSが状況を聞いてみると救急隊員からの話しではSさんの自宅アパートがすこし車では入りづらい場所にある為に車を移動していると後ろから誘導してくれる人がいたそうです。その指示に従い車を移動した救急隊員が

車から降り「どちらの部屋ですか」との問いに誘導者から笑顔で「私です。」の返事が……。そうSさん自身が救急車を待ちきれなく外に出て車が来るのを今や遅しと待っており、きっちり誘導までしてくれたそうです。念の為に病院に搬送されましたがやはり症状は落ち着いているとのことそのまま帰宅。Sさんは言います「夜間1人だと不安な人と話すと安心(笑)」。現在も本人の不安を解消することが課題になっています。

職業が元占い師のMさん(女性)は普段から靈感も強くよく先祖の霊などをみることがあるそうです。ある日そんなMさんの訪問調査がありました。普段からしっかりしていたMさんでしたが見知らぬ人(調査員)がくることに不安があり立ち会いの依頼。快く引き受け後日訪問調査が始まりました。しっかりしていたMさんの調査は快調にすすみましたが調査事項7行動のうちにその質問はありました「実際にないものが見えたり、聞こえたりすることがありますか」の問いにMさんは、はっきりと「あります」の一言。調査員が「ちゃんと伝わらなかったようですね」と同じ質問。それでも「あります」と1歩もひかないMさん。「うん。質問の仕方が悪かったようですね」と調査員。さらに調査員より「この質問はたとえば錯覚や幻覚など普段は見えない所に人が見えたりすることがありますか」という意味の質問ですよ」と丁寧な説明。Mさんは言います「すぐそこにいるじゃないですか」。それからMさんの家には暗くなってからは訪問しないようにしています。

平成17年度 予算

【収入】

項目	金額	内訳
会費	3,000,000円	3,000円×1,000名
参加料収入	1,280,000円	受験対策講座 @10,000円×100名 居宅基礎講座 @10,000円×20名 基礎講座 @1,000円×80名
雑収入	1,000円	預金利子等
繰越金	2,312,371円	
合計	6,593,371円	

【支出】

項目	金額	内訳
会議費	228,000円	交通費 @1,000円×14名×6回 お弁当 @1,500円×16名×6回
講師謝礼	500,000円	研究大会等講師謝礼、執筆謝礼
通信費	1,200,000円	広報誌の発送 @200円×1,000名×6回
印刷製本費	900,000円	広報誌の作成 @150,000円×6回
会場費	100,000円	全体研修会等
支部配分金	2,000,000円	@200,000円×10区(通信費、講師謝礼等)
道負担金	100,000円	北海道ケアマネジャー連絡協議会負担金
調査研究助成費	600,000円	@300,000円×2名
研究誌作成費	100,000円	@100円×1,000名
視察交流費	500,000円	@100,000円×5名
事務局費	65,371円	領収書、ラベル、切手等
予備費	300,000円	
合計	6,593,371円	

平成17年度 基本方針

市民の市民による市民のための介護文化の創造を目指し、次の3つの活動指針とする。

1. 市民に見える事業展開を図る

介護支援専門員は、どのような役割をもち、どのようなことをするのか、市民が理解しているとはいえない状況下にある。

利用者による選択と決定を前提とした介護保険には、成熟した市民社会の構築とそれを支える介護支援専門員の具体的な事業展開が求められる。

2. 専門性の追求を図る

介護支援専門員自らがケアマネジメントなどに関する調査研究を行うことで、専門性を追求し、ケアマネジメントの確立を図る。

3. 介護支援専門員間の共通基盤を探り、これを構築する

多職種を受験資格とした介護支援専門員の土俵は「地域」といえる。地域を意識した区支部単位の積極的な活動が求められる。

札幌市介護支援専門員連絡協議会新役員

(任期:平成17年4月1日~19年3月31日)

役職	氏名	所属
会長	奥田 龍人	医療法人溪仁会統括本部
副会長	松本 剛一	特別養護老人ホーム緑愛園
	土井 正子	札幌中央ケアプラン相談センター
事務局長	山下 雅寿	札幌市社会福祉協議会地域ケア推進部
監事	松家 治道	松家内科小児科
	葛西 正枝	札幌市保健福祉局介護保険課
【区支部長】		
中央区	菊地 一郎	居宅介護支援事業所西円山敬樹園
北区	浅利佐知子	そとこと居宅介護支援事業所
東区	村山 文彦	クラーク・ケアマネセンター
白石区	増田 智子	居宅介護支援事業所 コミュニティホーム白石
厚別区	義達奈生美	指定居宅介護支援事業所 ディ・グリューネン
豊平区	鹿毛美千子	札幌豊平ケアプラン相談センター
清田区	広岡 篤美	介護相談センターきよた
南区	由井 康博	愛全会総合相談窓口ケアプランセンター
西区	乙坂 友広	五天山園居宅介護支援事業所
手稲区	吉原 幸子	老人保健施設ほくと 居宅介護支援事業所

平成17年度 事業計画

★は新規事業

1. ケアマネさっぽろの発行(年6回)

2. 区支部事業の推進

定例会(情報交換及び学習会)1ヶ月及び2ヶ月に1回

*市民向けのイベントを年1回行う。

役員会(必要の都度)

★3. ケアマネジメント基礎講座の開催(年3回)

居宅介護支援事業所、認知対応型共同生活介護、介護保険施設における新任の介護支援専門員を対象にケアマネジメントの知識や技術を深めるために開催する。

4. 介護支援専門員受験対策講座の開催(年1回)

10月1日(土)・2日(日)センター大研修室

5. 市民向け講座の開催(年1回)

市民の方々に介護支援専門員の役割を理解し、お互いに意見交流することを目的に開催する。

6. 全体研修会の開催(年1回)

新予防給付、地域包括支援センター等、介護保険制度改正に伴う情報提供を目的とした研修会を開催する。

7. 調査研究助成の実施及び研究誌の発行

会員が自主的に実施する調査研究に対して助成し、研究誌を発行する。

★8. 関係機関との情報交換の実施

札幌市や札幌市医師会等との情報交換を定期的に実施する。

★9. ケアマネメール相談室の実施

会員向けに適正な給付管理や介護報酬の解釈等の相談をEメールにて受け付け、回答する。

10. 視察及び他のケアマネ連協との交流の実施(年1回)

全国の先進的なケアマネサポートセンター等の視察や他の政令指定都市等とのケアマネ連協との交流を深めるため実施する。

11. 各種委員会及び講演会等への会員の派遣

12. 役員会の開催(年6回)

13. 代議員会の開催(年1回)

14. 会員の募集及び会費の徴収

平成16年度 決算

【収入】

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会費	2,700,000円	3,024,000円	324,000円	3,000円×1,008名
参加料収入	1,900,000円	937,000円	△963,000円	受験対策講座 @10,000円×77名 @5,000円×22名 ケアマネジメント基礎講座 @3,000円×2名 @1,000円×43名 研究大会 @1,000円×8名
繰越金	3,922,364円	3,922,364円	0円	
雑収入	0円	30円	30円	預金利息等
合計	8,522,364円	7,883,394円	△638,970円	

(収入)7,883,394円-(支出)5,571,023円=2,312,371円(次年度繰越金)

【支出】

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	228,000円	204,560円	23,440円	交通費・お弁当代
講師謝礼	500,000円	401,990円	98,010円	講師謝礼、執筆謝礼
通信費	1,080,000円	1,258,270円	△178,270円	広報誌発送
印刷製本代	900,000円	783,300円	116,700円	広報誌の作成
会場費	500,000円	0円	500,000円	
支部負担金	2,000,000円	1,655,040円	344,960円	
道負担金	100,000円	100,420円	△420円	北海道ケアマネジャー 連絡協議会負担金
調査研究助成費	1,500,000円	417,907円	1,082,093円	
研究誌作成費	500,000円	242,970円	257,030円	
視察交流費	500,000円	451,940円	48,060円	
事務局費	214,364円	47,366円	166,998円	領収証、ラベル、切手等
予備費	500,000円	7,260円	492,740円	
合計	8,522,364円	5,571,023円	2,951,341円	

平成16年度 事業報告

【広 報】

①情報誌「ケアマネSAPPORO」の発行 1,300部
 4月1日 第27号 8月1日 第29号 12月1日 第31号
 6月1日 第28号 10月1日 第30号 2月1日 第32号

②研究誌の発行 1,100部

【研 修】

①全体研修会の開催

7月27日 参加者132名

《内容》

講演 「褥瘡ケアセンターにおける褥瘡及び慢性創傷治療」
 ミレニア・ウンド・マネジメント社日本支社長 岡橋 伸浩 氏

②市民のためのケアマネフォーラムの開催

9月17日 参加者112名

《内容》

講演 「介護保険制度の動向とケアマネジャー」
 札幌市介護支援専門員連絡協議会々長 奥田 龍人 氏
 シンポジウム 「利用者を支えるケアマネジャー」
 司 会 札幌市介護支援専門員連絡協議会副会長 斉藤 潤子 氏
 シンポジスト 札幌市介護保険事業計画推進委員会地域委員 吉田 重美 氏
 シンポジスト 札幌市在宅福祉サービス協会西相談センター所長 鈴木 紀子 氏
 シンポジスト 特別養護老人ホーム厚別栄和荘主任生活相談員 三井 弘巳 氏

③介護支援専門員受験対策講座の開催

10月2日～3日 参加者99名

《内容》

講義 「居宅介護支援と居宅サービス」
 ケアプランセンターはばたき所長 山崎 加代子 氏
 講義 「介護保険制度と介護支援」
 医療法人溪仁会統括本部業務管理室室長 奥田 龍人 氏
 講義 「高齢者保健医療の基礎知識」
 札幌厚別ケアプラン相談センター所長 斉藤 潤子 氏
 講義 「介護保険施設と高齢者福祉の基礎知識」
 特別養護老人ホーム緑愛園施設長 松本 剛一 氏

④ケアマネジメント基礎講座の開催

10月30日 参加者41名

《内容》

講義 「ケアマネジャーの業務と役割について」
 札幌市保健福祉局介護保険課
 ケアマネジメント担当係長 葛西 正枝 氏
 講義 「アセスメント、担当者会議、モニタリングの方法について」
 愛全会総合相談窓口ケアプランセンター介護支援専門員 由井 康博 氏

講義 「ケアプラン作成と給付管理の実際について」

札幌厚別ケアプラン相談センター所長 斉藤 潤子 氏

⑤研究大会兼設立5周年記念大会の開催

12月4日 参加者122名

《内容》

講演 「今後の介護保険制度とケアマネジャー」

NPO法人神奈川県介護支援専門員協会理事長 齋藤 学 氏
 研究発表1 「ケアマネジメントにおける在宅介護支援センターとの連携・活用に関する考察」
 清幌園居宅介護支援事業所介護支援専門員 鈴木 敦子 氏
 研究発表2 「介護支援専門員業務とサービス事業者との連携に関する一考察」
 西円山病院在宅ケアセンター介護支援専門員 笠原 礼奈 氏

【組 織】 視察、関係機関との情報交換等の実施

5月27日	札幌市社会福祉協議会評議員会 (奥田出席)	～12日	修会(山崎・柏出席)
7月 8日	札幌市介護保険事業計画推進委員会 (奥田出席)	2月10日	札幌市医師会との懇談会(奥田、斉藤、柏、葛西、由井出席)
7月21日～22日	神奈川県介護支援専門員協会、めい・あい・へるぶゆー等の視察(奥田、斉藤、広岡、乙坂、小野出席)	2月18日	道央ブロック介護支援専門員連絡会議(柏出席)
10月21日	札幌市介護保険事業計画推進委員会 (奥田出席)	3月12日	全国介護支援専門員連絡協議会研究大天使ケアプランセンター介護支援専門員中元裕美子出席
10月29日	札幌市介護保険課との懇談会(奥田、斉藤、柏、松本出席)	3月23日	札幌市社会福祉協議会評議員会(奥田出席)
11月 8日～10日	介護サービスの情報開示の標準化モデル事業調査員研	3月29日	札幌市介護保険事業計画推進委員会(奥田出席)

【その他】 会務の運営

4月14日	第1回役員会	3月29日	代議員会・研修会「個人情報保護法の理解と取り組みのポイントについて」札幌総合法律事務所弁護士 石川 和弘 氏
6月15日	第2回役員会		
8月13日	第3回役員会		
10月15日	第4回役員会		
12月 9日	第5回役員会		
1月11日	三役・監事会		
2月17日	第6回役員会		

区支部活動の報告

.....中央区支部.....

4月21日 総会と研修会「医師から見たケアマネジャーとの連携について」
 札幌中央ファミリークリニック院長 高橋 貴美子 氏
 6月21日 シンポジウム形式による座談会
 8月23日 面接技法とスーパービジョン①
 北海道医療大学看護福祉学部専任講師 大友 芳恵 氏
 10月18日 区向け講座「上手に利用しましょう。介護保険・マイケアプランをつくってみましょう」
 NPO法人シーズネット理事長 岩見 太市 氏
 12月15日 面接技法とスーパービジョン②
 北海道医療大学看護福祉学部専任講師 大友 芳恵 氏
 2月21日 ケアプランの変更点について
 北海道総合調査研究会常務理事・企画室長 五十嵐 智嘉子 氏

.....北区支部.....

4月21日 総会と研修会「訪問介護事業所の現状と課題について」
 札幌市在宅福祉サービス協会ほっとプラザ所長 工藤 博 氏
 5月19日 自立促進のケアプラン
 北海道社会福祉士ケアプランスーパーバイズ事業地区調査員 佐藤 珠美 氏
 6月16日 ICF事例を通じて自立支援を考える

医療法人はるにれ在宅支援部長 吉谷 敬 氏
 7月21日 訪問介護における不適切事例と自立支援について考える
 札幌ホームヘルパー協会会長 木村 靖子 氏
 9月15日 在宅生活を継続させるための福祉用具の活用
 松下電工エイジフリーショップ 三浦 弘子 氏
 10月20日 生活保護制度入門
 南区保健福祉サービス課地域福祉係長 佐藤 俊明 氏
 11月17日 地域福祉権利擁護事業について
 札幌市地域福祉生活支援北センター専門員 佐藤 まゆみ 氏
 わかりやすい成年後見制度
 札幌市地域福祉生活支援センター専門員 細谷 義江 氏
 1月19日 介護保険制度改定の政策動向と経営戦略
 北星学園大学社会福祉学部助教授 島津 淳 氏
 2月16日 地域における高齢者虐待の実態と今後の対策
 北海道新聞生活部記者 石原 宏治 氏
 3月16日 みんなで考えよう訪問介護
 札幌市保健福祉局介護保険課事業運営係長 小山 雅司 氏
 札幌市保健福祉局介護保険課ケアマネジメント担当係長 葛西 正枝 氏

●●●● 東区支部 ●●●●

- 5月21日 総会と交流会
7月14日 一般的な精神障害に対する理解とその特殊性
五稜会病院 古根 高 氏
10月 2日 区民向け講座「認知症高齢者の介護」
特別養護老人ホーム聖芳園次長 船越 正博 氏
11月18日 プロフェッショナルな面接技術
北星学園大学社会福祉学部助教授 高橋 学 氏
1月19日 自立支援・介護予防の理論と実践
医療法人はるにれ在宅支援部長 吉谷 敬 氏
3月17日 介護保険制度の動向について
北海道ケアマネジャー連絡協議会会長 岩見 太市 氏

●●●● 白石区支部 ●●●●

- 5月14日 総会と研修会「2015年の高齢者介護と介護支援専門員の課題」
北星学園大学社会福祉学部助教授 島津 淳 氏
7月10日 高齢者虐待について
北海道医療大学看護福祉学部教授 石川 秀也 氏
9月15日 嚥下障害者の口腔リハビリによる自立支援の可能性
平田口腔顎顔面外科リハビリテーション科長 藤岡 妙子 氏
11月 6日 区民向け講演会「あれ、ほけたかな、…そのとき家族は?~痴呆の精神医学的側面と家族対応~」
札幌こころのセンター所長 築島 健 氏
1月22日 介護保険制度の政策動向と経営戦略
北星学園大学社会福祉学部助教授 島津 淳 氏
3月13日 ICFとケアマネジメントを考える
北海道保健福祉部介護保険課主査(研修) 今川 洋子 氏

●●●● 厚別区支部 ●●●●

- 4月20日 総会と研修「不適切事例を考える」
医療法人溪仁会統括本部業務管理室室長 奥田 龍人 氏
5月18日 移送サービスについて
石狩保健福祉事務所社会福祉課主査 小川 仁 氏
6月 8日 事例検討(移送サービスを利用している事例)
7月23日 支援費制度の動向について
札幌市保健福祉局障がい福祉課支援費事業推進係長 天田 孝 氏
NPOわーかーびー事務局長 松坂 優 氏
8月10日 事例検討(支援費を併用して利用している事例)
9月18日 区民向け催し「介護の理解を深める情報広場」西友厚別店
10月12日 ICFとポジティブケアプラン
北海道総合調査研究会常務理事・企画室長 五十嵐 智嘉子 氏
11月16日 アロマセラピー
ラール スクールオブアロマセラピー主宰 松本 和恵 氏
12月14日 区内のグループホームの現状とかかわり
2月 8日 介護保険制度の政策動向と経営戦略について
北星学園大学社会福祉学部助教授 島津 淳 氏
3月 8日 在宅介護支援事業所の自己評価基準について

●●●● 豊平区支部 ●●●●

- 4月 8日 ボランティアについて-具体例を通して-
豊平区社会福祉協議会 高木 啓太 氏
5月13日 総会・研修会「ボランティアとそのコーディネート」
北星学園大学社会福祉学部助教授 池田 雅子 氏
6月10日 対人援助技術
札幌ディケアセンター指導訓練課長 中野 英子 氏
7月21日 区民向け学習会「認知症と向き合うシンポジウム」
内科・神経内科美園医院 遠藤 一哉 氏
8月18日 地域ネットワークを語りましょう
9月 9日 ケアマネジャーへの苦情からみてきたこと
カリタス家庭支援センター代表 堤 邑江 氏
10月14日 実地指導について
石狩保健福祉事務所社会福祉課主査 小川 仁 氏
11月11日 実地指導について
みどりの丘指定在宅介護支援事業所介護支援専門員 津田 直輝 氏
12月 9日 記録、ファイリング等についての情報交換会
1月13日 対人援助技術パートⅡ
札幌ディケアセンター指導訓練課長 中野 英子 氏
2月10日 介護保険制度改定とケアマネジメントのあり方
NPO法人シーズネット理事長 岩見 太市 氏
3月10日 家族造形法
札幌ディケアセンター指導訓練課長 中野 英子 氏

●●●● 清田区支部 ●●●●

- 5月19日 総会と研修会「食の自立支援・配食サービスにおける居宅ケアマネの留意点」
札幌市保健福祉局高齢福祉課在宅福祉係長 尾崎 芳正 氏
7月14日 ケアマネのメンタルヘルスケアについて
札幌市精神保健福祉センター所長 築島 健 氏
9月26日 区民公開講座「在宅介護の泣き笑い-私の実体験をふりかえって-」
札幌市議会議員 林家 とんでん平 氏
11月17日 神奈川県介護支援専門員協会等視察報告
清田区支部長 広岡 篤美 氏
清田区における居宅介護支援事業所様式のとりまとめについて
清田区副支部長 松橋 信夫 氏
1月19日 交流会
3月16日 介護保険制度の動向
医療法人溪仁会統括本部業務管理室室長 奥田 龍人 氏

●●●● 南区支部 ●●●●

- 5月11日 総会と研修会「実地指導について」
石狩保健福祉事務所社会福祉課介護保険係長 西澤 靖宏 氏
7月13日 在宅介護支援事業所の適正な運営のために
医療法人溪仁会統括本部業務管理室室長 奥田 龍人 氏
9月14日 悪徳商法について
札幌青年司法書士会 番井 菊世 氏
10月12日 痴呆の人の気持ち 家族の気持ち
札幌ほけ老人を抱える家族の会事務局長 石原 優子 氏
痴呆症の早期診断と対策-あなたは立方体を写せますか-
ときわ病院々長 宮澤 仁朗 氏
11月 9日 高齢者虐待について
北海道新聞生活部記者 石原 宏治 氏
11月13日 区民向けイベント「明るい老後の情報広場-施設見学と相談コーナー-」
1月11日 介護保険制度におけるグループホームの現状
グループホーム福寿荘総合施設長 武田 純子 氏
3月 8日 介護保険制度改正の政策動向と経営戦略について
北星学園大学社会福祉学部助教授 島津 淳 氏

●●●● 西区支部 ●●●●

- 5月18日 総会と公開シンポジウム「地域で、自分の家で最期まで暮らせますか?」
7月20日 新しいケアプランの考え方-ポジティブケアプラン-
札幌市在宅福祉サービス協会西相談センター所長 鈴木 紀子 氏
8月17日 知ってほしい痴呆への取り組み
高齢者痴呆介護研究・研修東京センター長 長谷川 和夫 氏
9月21日 神奈川県介護支援専門員協会等の視察報告
西区支部長 乙坂 友広 氏
自立支援に向けた研修会
札幌市在宅福祉サービス協会西相談センター所長 鈴木 紀子 氏
11月16日 通所リハビリから在宅支援に向けた取り組みについて
医療法人はるにれ在宅支援部長 吉谷 敬 氏
シートのスティ有効活用の取り組みについて
特別養護老人ホームひだまり大塚福祉施設サービス課長 須貝 真利子 氏
1月11日 地域福祉権利擁護事業について
札幌市地域福祉生活支援西センター専門員 村上 里恵子 氏
わかりやすい成年後見制度
札幌市地域福祉生活支援センター専門員 細谷 義江 氏
3月15日 札幌市の介護給付費適正化事業の取り組みについて
札幌市保健福祉局介護保険課事業運営係長 小山 雅司 氏
札幌市保健福祉局介護保険課ケアマネジメント担当係長 葛西 正枝 氏

●●●● 手稲支部 ●●●●

- 4月 7日 総会と研修会「食の自立支援事業について」
6月 9日 ポジティブケアプランのポイント
慈啓会介護総合相談センター介護支援専門員 川島 志緒理 氏
8月17日 知ってほしい痴呆への取り組み
高齢者痴呆介護研究・研修東京センター長 長谷川 和夫 氏
10月13日 みんなで考えよう訪問介護
札幌市保健福祉局介護保険課事業運営係長 小山 雅司 氏
札幌市保健福祉局介護保険課ケアマネジメント担当係長 葛西 正枝 氏
12月 8日 訪問歯科制度について
かなやま歯科クリニック 三浦 正幸 氏
2月 9日 在宅介護の泣き笑い-私の実体験をふりかえって-
札幌市議会議員 林家 とんでん平 氏

掲示板コーナー

日時の末尾に《※》が付いている定例会は、他区支部の会員も参加できますので、ご確認のうえ、ご参加下さい。

● 中央区支部定例会

日時▶4月18日(月)18時30分～
会場▶札幌市社会福祉総合センター
テーマ▶総会と研修会
「支援者のためのカラーセラピー」
講師▶オフィスピア 一條光智代 氏
問い合わせ先▶中央区基幹型在宅介護支援センター
☎281-6113

● 北区支部定例会

日時▶①4月20日(水)18時30分～20時
②5月18日(水)18時30分～20時《※》
会場▶北区民センター
テーマ▶①総会と研修会「介護保険制度の理念と
ケアマネジャーの役割」
②感染症について
講師▶①そとこと居宅介護支援事業所々長 浅利佐知子 氏
問い合わせ先▶北区基幹型在宅介護支援センター
☎757-6113

● 東区支部定例会

日時▶5月19日(木)18時30分～20時
会場▶東区民センター
テーマ▶総会と研修会
問い合わせ先▶東区基幹型在宅介護支援センター
☎741-6401

● 白石区支部定例会

日時▶5月17日(火)18時30分～
会場▶白石区民センター
テーマ▶総会と研修会
問い合わせ先▶白石区基幹型在宅介護支援センター
☎861-6116

● 厚別区支部定例会

日時▶①4月19日(火)18時30分～20時30分
②5月10日(火)18時30分～20時30分
会場▶厚別区民センター
テーマ▶①総会と研修会「介護保険制度改正に
向けてケアマネジャーが準備しておくこと」
②会員交流会
講師▶①医療法人深仁会統括本部業務管理室々長 奥田 龍人 氏
問い合わせ先▶厚別区基幹型在宅介護支援センター
☎895-6101

● 豊平区支部定例会

日時▶5月12日(木)18時30分～20時
会場▶豊平区民センター
テーマ▶総会と研修会「生活機能向上のために
私たちができること-ICF概念から考える-」
講師▶札幌市身体障害者福祉センター理学療法士 鈴木 英樹 氏
問い合わせ先▶豊平区基幹型在宅介護支援センター
☎815-6108

● 清田区支部定例会

日時▶5月18日(水)18時30分～
会場▶清田総合庁舎
テーマ▶総会と研修会
問い合わせ先▶清田区基幹型在宅介護支援センター
☎885-6109

● 南区支部定例会

日時▶5月10日(火)18時30分～
会場▶南区民センター
テーマ▶総会と研修会
問い合わせ先▶南区基幹型在宅介護支援センター
☎582-6104

● 西区支部定例会

日時▶5月17日(火)18時30分～20時30分
会場▶西区民センター
テーマ▶総会と研修会
問い合わせ先▶西区基幹型在宅介護支援センター
☎614-6105

● 手稲区支部定例会

日時▶5月11日(水)18時30分～20時30分
会場▶手稲区民センター
テーマ▶総会と研修会
問い合わせ先▶手稲区基幹型在宅介護支援センター
☎695-6113

「ケアマネメール相談室」ご利用下さい!!

介護支援専門員として働いていて、適正な給付管理や介護報酬の解釈などで、ふと疑問に思うこと、介護支援専門員の仕事はしていないけどケアマネメントのことで聞いてみたいことなどEメールで気軽に相談できるよう、本会会員のための相談室を昨年9月から開設していますので、ご利用下さい。

相談を希望する方は、氏名、所属、会員番号を明記の上、相談内容を簡潔にまとめ、Eメールして下さい。Eメールアドレスは、「caremanager@sapporo-shakyo.or.jp」です。お気軽にご相談下さい。